

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
1. バイオマス産業都市構想 2. 女性と子どもが住みやすいまちづくり 3. 駅周辺にぎわい創造 ・弘法山公園利活用方針に基づく整備 ・震生湖太鼓橋の架け替え ・頭高山の里山林整備、植樹祭 4. はだのスポーツビレッジ構想 5. 電子地域通貨 6. 羽根森林資源活用拠点(仮称) 7. 戸川土地区画整理組合への支援、菩提横野線、矢坪沢水路整備 8. デジタル化の推進 ・マイナンバーカード ・本市の学校教育での「デジタルな学び」 9. プラスチック一括回収について ※詳細は別途資料参照	市長
○ 第2部 市政全般について	
(要望) ・平和橋からうぐいす橋までの左岸の市道は、住宅地付近は舗装されているが、完全ではない。凹凸が激しく、車の通行に支障を来している。春になるとおかめ桜や菜の花の見物客も増加しており、車の通行量も増えている。 ・雨が降ると、ごみの収集場所に水が溜まってしまい、近隣住民からもごみ出しが大変だとの声がある。できるところから早急に整備をお願いしたい。	戸川上自治会
 	

(回答) ・水無川上流沿いの道路については、民地との境界が不確定な場所があり、舗装ができていない場所がある。今後、どのような対応ができるか検討していきたい。 ・未舗装の凸凹箇所については、市で砂利敷きの補修作業をするので、具体的な場所を御連絡いただきたい。 ・ごみ収集場所に雨水が溜まってしまうことについては、道路の構造的なことで、川側に勾配がついていて、川側に土手が少しあり、うぐいす橋方面から下ってきた道が、ごみ収集場所付近から平和橋方面に向かって緩く上っているため、水が溜まってしまうという状況である。 ・上流には土手側に水を捌ける場所が数か所あるが、一気に進むと土手の崩落の危険性も出てくるので、徐々に上流からの水を減らしていくことを今後検討していきたい。	建設部長
(要望) ・北中学校の本館の外壁が、かなり汚れている。新東名高速道路が令和9年に全線開通し、インターチェンジの活用で多くの車が通行されるようになるのできれいにしていきたい。秦野市の観光、魅力づくりのためにも、また、生徒や先生も喜ぶと思うので、ぜひお願いしたい。今後の整備予定を教えてください。	戸川上自治会
(回答) ・市内小中学校施設の9割が30年を超えており、維持補修などの課題がある。 ・教育部では、今後、令和8年度からの後期総合計画策定の中で、長期的な学校施設の修繕計画を立て、優先順位をつけて外壁を含めた建物や設備等の維持、保全を図っていく予定であるが、その間の暫定的な対策として高圧洗浄により汚れをとるというような対策も検討している。	政策部長
(要望) ・ごみ収集場所北122番を利用している外国人の方々が、曜日を守らず、可燃ごみのときに、一緒に缶を捨てたり、袋を結ばないでごみを出したりというのがある。 ・外国語版のカレンダーには、可燃ごみはこういうものという説明はあるが、カレンダーには外国語表示がなく、色分けのみである。カレンダーの下の方に「さんあーる」の2次元コードがあり、そこから多言語に切り替えができるようだが、多言語の選択をするには、日本語で登録をしないとイケないとのことで、外国人の方にはハードルが高いのではないかと思います。 ・希望のあるごみ収集場所にはA4サイズくらいで外国の方用にカレンダーを掲示して、ルールが守られるようにしてはどうか。 ・企業に方にも資料を渡して、指導をお願いしてはどうか。	戸川中自治会
(回答) ・スマートフォンアプリ「さんあーる」は約1万5,000人の市民の方に御登録いただいております、そのうち、外国人の方は約1,500人に御登録いただいております。 ・ルールが守られていない場所もあるが、来年度からプラスチック一括回収が始まる中で、ごみ分別の冊子も新しいものに作り直しており、各御家庭にお配りしたいと考えています。 ・また、集合住宅のオーナーの方に対して説明会を行い、そこでもごみの分別カレンダーを配布しているが、ルールが守られるよう、より強く注意喚起をしていきたい。 ・企業様に対しては、その従業員の方に対してどのように伝えていくのかということは、課題として捉えるが、まずは「さんあーる」の内容に見直すべき部分があるか検討したい。	環境産業部長

（要望）

- ・葛葉川の向山橋から四山橋までの左岸、約200～250メートル間は、一部を除きガードレールが未整備となっている。道幅も狭いことから、車はお互い譲り合いながら通行している状況である。
- ・2、3台の車が川に落ちているとも聞いており、ガードレールの設置をお願いしたい。



菩提上東自治会

（回答）

- ・当該箇所は、上流部分と山側から川に向かってT字路になっている部分については、ガードレールを平成29年度頃までに設置したという経緯がある。
- ・転落の危険もあることから、設置の検討はしており、具体的な時期や箇所については、後日、改めて担当課から直接、御連絡をさせていただきたい。

建設部長

（要望）

- ・市へ要望をすると、「今の基準はこうなっているからできません」や「検討していく」という回答がほとんどである。
- ・一例としては、自治会で防犯パトロールを行っていて、暗い箇所の防犯灯設置の要望を出したところ、「防犯灯は40メートル間隔で設置する基準になっているのでつけられない」との回答であった。
- ・もう一例は、横断歩道の設置で、堀戸大橋から工業団地入口までの大きな道路に信号機が3基あり、それぞれに信号機の間隔が違うが、間隔が一番長いところに信号機の設置を要望したところ、警察の方と相談したが、交通量が少ないため「信号機はつけられない」との回答であった。
- ・地域から、高齢者や小学生の横断が頻繁にあることから、横断歩道設置の要望があり、懇談会のテーマとしたが、担当課から交通量が少ないので横断歩道の設置はできないとの回答があった。市内には同じような条件で横断歩道が設置されている箇所もある。
- ・基準は基準として、もう少し臨機応変に対応いただけないか。

戸川原自治会

(回答) ・防犯灯は、犯罪抑止や交通安全を目的として道路照明の一つとして設置している。必ずしも40メートルの間隔がないと絶対に設置しないということではなく、樹木の繁茂や曲線部分、看板等で暗いということであれば、まず、場所を教えていただき、暗くなる時間帯に担当が現地を確認するため、御相談いただきたい。 ・横断歩道の設置については、自治会長様と地域安全課の職員が現地を確認し、改めて、所管している秦野警察署に確認したところ、当該箇所は「信号機がなく、横断歩道だけを設置することは、道路幅員、交通量等から事故を及ぼす可能性が高く、設置は困難である」との回答があった。 ・信号機の設置については、「交差する道路の交通量、幅員が設置基準を満たしていないことから設置は難しい」との回答であった。 ・今回の懇談会での御意見をふまえ、再度、秦野警察署に話を聞いてみたいと考えている。	くらし安心 部長
(質問) ・児童ホームの対象学年が6年生まで拡大したが、北小学校では児童ホームが3クラスある。既に人数がかなり多い状況にあり、6年生まで対象拡大は、実現可能なのか。	まちづくり委 員会
(回答) ・放課後児童ホームは、これまで4年生までを対象としていたが、共働き家庭の増加により、6年生までの拡充を望む声が多く、この4月から実施した。 ・対象学年の拡充にあたり、事前に意向調査を行ったところ、南小学校のみ、受け入れ教室が十分でない可能性があったため、隣接する南幼稚園の空き教室を改修し対応したが、他の小学校では、受け入れができていない状況である。	市長
(要望) ・デジタルの推進により、市役所に行かなくてもいいなど、便利になることはとてもいいことだと思うが、業務を市の職員が直接扱うのではなく、民間企業に丸投げされると、情報が洩れるのではと心配になる。 ・市から、毎日いろいろな詐欺の注意喚起の情報メールがきており、名前や住所、電話番号がどこかに漏れているのではないかと心配になるので、個人情報厳格に扱っていただきたい。 ・リチウムイオンバッテリー、太陽光パネルの回収についてはどう考えているか。	まちづくり委 員会
(回答) ・マイナンバーカードにおいて、一部の自治体で情報漏れの事例がありましたが、秦野市では、情報漏れはないことは確認している。 ・リチウム電池は、市環境資源対策課がある環境資源センターや回収協力店へ持っていっていただき、回収をしている。回収総量はそれほど多くないため、費用対効果などの理由により、ごみ収集場所での直接収集は考えていない。 ・太陽光パネルは、その耐用年数が到来する事例が増えていくことをふまえ、国の動向を注視している状況である。	政策部長 環境産業部 長

(要望) ・地球温暖化で非常に暑い日が続いている。この暑さを吸収するのは、森林、山岳地域、水田である。丹沢の山を見ると一部が崩れている、剥げているというか、そのようなところが見受けられる。山が崩れないようにすることは、大事だと思うので管理をお願いしたい。	まちづくり委員会
(回答) ・神奈川県では県民に水源環境保全税という税を課税しているが、神奈川県のなかでは秦野市は多くの森林、豊かな水がめを保有していることから、その財源をもとに、計画的に森林整備を行っている。北財産区も広い土地を持っているので、その辺も含めてしっかり整備していきたい。	環境産業部長
(質問、意見) ・ごみの分別は、秦野市ではかなり細かく行っているが、伊勢原市の市民の方からは、伊勢原市はそんなに細かく分別していないと聞いた。同じ清掃工場を利用しているのに分別の仕方が違うというのはどういうことなのか。現在は改善されているのか。 ・出生届を出された方にお祝いのメッセージを送ったら、喜ばれるのではないかと。アメリカでは大統領名で発送しているようだ。国内ではそのような取り組みをしている自治体はないので、日本初の市長メッセージとなるし、金額的にもいくらでもないと思う。	まちづくり委員会
(回答) ・ゴミの分別について、確かに以前は、だいぶ異なっていたが、現在はほぼ解消され、伊勢原市も細かい分別を行っている。また、草木の回収についても秦野市の方が早く始めたが、伊勢原市も今年度から始めていて、両市が足並みを揃え、ごみ減量、分別をし、また、資源化を図っている。	環境産業部長
・出生届の際のお祝いメッセージについては、御意見としてお受けする。	くらし安心部長
(質問) ・数年前に災害時避難行動要支援者名簿の整備をしたと思う。個人計画があり、各自主防災会の会長がやりとりをし、地震が起きた後にその名簿を活用するとの説明があった。名簿は自主防災会で大切に保管してほしいと言われた。 ・昨今、大雨や台風の場合に公民館に避難をしてくださいという情報が流れる。そのときに、危険な場所に住んでいる避難行動要支援者は、誰がどうするのかということについて、各自主防災会と市が協議する場を作してほしい。そして、被害に合う前に避難行動をするための名簿にしてほしい。 ・プライバシーの関係もあるので、どこまで開示していくべきなのか、確認をさせてほしい。	まちづくり委員会
(回答) ・避難行動要支援者名簿は、自治会長をはじめとして、民生委員、消防、警察の方にも提出をしている。 ・共助という部分で地域の方々にも御協力いただきながら、また関係団体にも相談をさせていただきながら、改善していきたい。 ・個別避難計画の作成は努力義務となっているが、今年度から積極的に作成していきたいと考えており、避難行動要支援者名簿に載っていて、同意をいただいた方に対して個別避難計画を作成する予定で、原則的には福祉専門職であるケアマネージャーを中心に作成を行っていただきたいと考えている。	くらし安心部長

(要望) ・県道705号線で菩提方面から市街地へ向かう途中にある、「工業団地入口」の信号は、朝夕に渋滞方面に向かう右折車による渋滞が発生している。右折レーンの設置をしていただきたいが、まずは青信号点灯時間の時差を作ることで、渋滞緩和につながるのではないかと思いますので警察を含め、検討をお願いしたい。	菩提中東自治会
(回答) ・信号機の設置を所管する秦野警察署に確認したところ、時差式信号機は、警察庁が定める「時差式信号現示による制御に関する運用指針」により運用されており、時差式信号機は、十字路交差点では、右折車両と直進車両の事故を防止するため、青信号が短くなる方から来る車両を、終日、右折禁止にしなければならず、御要望の「工業団地入口」交差点では、本町地区方面から来る車両について、葛葉川方面への右折を禁止する必要があるため、時差式信号機の設置は困難である」との回答だった。 ・秦野丹沢スマートIC入口交差点から工業団地入口交差点の区間を、新設道路の都市計画道路菩提横野線として、今年度から工事着手を予定しており、工業団地入口交差点については、菩提横野線の整備にあわせて、要望がありました菩提方面からの右折レーンを設置する計画になっている。	くらし安心 部長